

XI 平成 26 年度愛知県図書館事業計画

基本的運営方針における前半 5 年間の行動計画にあげた各項目について、26 年度に取り組む内容を示すもので、25 年度までの「愛知県図書館サービス計画」に代わるものとして作成した。

1 すべての県民への図書館サービスの提供				
基本的な運営方針の記述				平成 26 年度の事業内容
項目		行動		
(1) どこでも、いつでも使える図書館	ア どこでも、いつでも使える図書館	県図書館に来館することが難しい県民に対するサービスを充実させ、愛知県図書館を身近にします	協力貸出を申し込んでから届くまでの日数を短縮します	資料搬送計画の見直し
			個人貸出を行っていなかった、地域資料を貸出できるようにします	実施計画の作成
			雑誌を協力貸出の対象とし、市町村立図書館で利用できるようにします	協力貸出の対象とする雑誌の範囲の検討開始
			遠隔地返却制度の対象範囲の拡大を図ります	新規参加候補の図書館との調整及び搬送計画の作成
			デジタル資料を積極的に導入します	自宅で利用できる音楽配信サービスの導入／郵送による利用カードの申込み・交付の開始
	イ 誰でも使える図書館	様々な生活条件を担っている人へのサービスを充実させます	県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します	障害のある人も使えるマルチメディアデイジーの提供について検討開始
			市町村立図書館との連携を深めます	県内の図書館団体と連携し、県及び市町村立図書館職員のために高齢者サービスに関する研修を実施
(2) 地域の文化・産業を支える図書館	ア 地域資料の収集・保存・提供	地域資料の収集・保存に力を注ぐとともに、効率的に利用できる提供方法を確認します	地域資料を重点的に収集します（重点分野を年度ごとに決めて収集します）	市町村史誌を重点的に収集
			ホームページで公開している「貴重和本デジタルライブラリー」を拡充します	「貴重和本デジタルライブラリー」にさらに 30 タイトルを追加
			地域資料のデジタル化を推進します	地域資料のデジタル化の実施方法を検討
			ホームページ内に「愛知県関係資料ポータル」を新設します	Web公開に向けて「愛知県関係資料ポータル」を作成
	イ 愛知の産業の発展に貢献する資料の提供	産業の発展に貢献する資料を提供します	産業分野に関連する資料を重点的に収集します	航空宇宙産業に関する資料を積極的に収集
(3) 仕事や生活に役立つ図書館		県民が必要とする情報を速やかに提供するためのサービスの充実を図ります	情報の入手に有効なオンラインデータベースを積極的に導入します	新しいデータベースの導入の検討
			資料の配置や表示をより利用しやすいものにします	資料の配置や表示の点検を行い、案内方法を検討／直接手に取って選べるAV資料を増やすため開架化を推進

(4) 若い人に読書の愉しみを 伝え知の力を育てる図書 館		児童と大人の間 にある若年層に 向けて、読書の 重要性を呼びか けます	若年層に向けた新しいイベ ントを開催します	他館における若年層向けイベントの 調査／ホームページなどを利用し て若年層からの意見を収集
			インターネットを利用した若年 層向けの情報発信を充実しま す	若年層に向けた新しいコンテンツを 検討し、ホームページを充実
			高等学校など関係機関との連 携や支援を実施します	学校図書館担当者との情報交換を 行い必要な支援を検討
(5) 生涯学習を支える図書 館	ア 情報活用力 向上への支 援	図書館を生涯学 習の場として活 用できるようにし ます	資料や情報を利用するための 力の向上のお手伝いをします	利用者向けに、図書館システムの使 い方や、データベース、参考図書 の使い方を紹介する調べ方講座を 開催
	イ ボランティア 活動の機会 の提供		ボランティア活動の機会を提 供するとともに、ボランティアと の協働を充実します	おはなし会サポーターの勉強会を 開催
	ウ コミュニケー ションの場の 提供		資料や情報を媒介としたコミュ ニケーションの場の提供に努 めます	利用者参加型イベントを実施

2 市町村立図書館等への支援			
基本的な運営方針の記述			平成 26 年度の事業内容
項目	行動		
(1) 資料の提供	広域的な観点に 立って資料の提 供・保存に取り 組みます	県内の図書館の所蔵資料に関 する情報を迅速・的確に入手 できるようにシステム等を整 備します	雑誌・新聞総合目録のデータベ ース化
(2) 除籍される資料の保存 とあいちラストワン・プ ロジェクトの推進		県内最後の 1 冊となる資料を 保存します	あいちラストワン・プロジェクト の資料の受入・整理を開始
(3) 運営の助言	市町村立図書館 等がより質の高 いサービスを提 供できるよう、 運営を支援しま す	県図書館へのニーズを把握す るため、職員による市町村立 図書館訪問を実施します	市町村の中央図書館を 24 館以上訪 問
		図書館未設置町村の公民館図 書室への支援を充実するとと もに、自治体の理解を促しま す	図書館が設置されていない町村の 公民館図書室を訪問し、読書活動 の推進を働きかけ
(4) 人材の育成		市町村立図書館の人材育成を 支援します	県教育委員会や関係団体との連携 による研修事業を実施

3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成			
基本的な運営方針の記述			26 年度の事業内容
項目	行動		
(1) 「資料搬送・情報」の ネットワーク	個々の図書館では実施できないサービスの充実を図ります	効率的な資料搬送ネットワークにより相互貸借体制を維持・発展させます	東海・北陸地区の定期便を発展させるため関係図書館の意向を照会

(2) 「にぎわい」のネットワーク	新たなネットワークづくりに力を入れ、サービスの輪を広げます	県内図書館等と連携したイベントの充実を図ります	県内公立図書館連携イベントを開催し、共同で広報を実施
(3) 「人」のネットワーク		図書館の関連機関との人的な連携を深めていきます	大学や行政機関と協力し、講演会や資料展示などのイベントを実施
(4) 「危機対応」のネットワーク		県内外の図書館や図書館関係団体等との連絡調整に努めます	東海・北陸地区の図書館との関係を強化

4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備				
基本的な運営方針の記述				26年度の事業内容
項目		行動		
(1) 拠点図書館としての資料の収集と保存	ア 多様な資料の収集	拠点図書館として必要とされる資料の拡充や保存に向けて行動します	資料収集計画を策定し、市町村立図書館では購入しにくい資料などを計画的に収集します	資料収集計画に基づき資料を収集
	イ デジタル資料への対応		デジタルで利用可能な資料への対応を図ります	デジタルデータで提供される資料に対応するための調査を実施
	ウ 資料の保存		資料の補修の方針を策定し、計画的に実施します	資料補修の方針策定に向けて調査・検討
(2) 職員の育成と効率的な組織づくり	ア 職員の育成	研修や人材育成を行うとともに、組織と業務を精査します	人材の育成に努めスキルアップを図ります	館内レファレンス研修を10回実施
	イ 効率的な組織づくり		組織運営の点検・見直しを行い、改善を図ります	組織運営の点検・見直し
(3) 新たな図書館サービスの調査研究・開発		県民や市町村立図書館の意見を踏まえ、新しい方向性を探ります	新しい図書館サービスを調査研究し、先進的なサービスを試行します	他県の事例を調査
(4) 利便性の高い施設づくり	ア 快適・安心な施設づくり	快適に安心して使える施設をめざします	居心地良く快適に利用できるよう、施設環境を整備します	閲覧席など備品類の状況を点検 施設の環境整備について検討
			安心して利用できるよう、施設の点検・修繕を計画的に行います	調査を行い、優先順位を決定
	イ サービスの水準を高める施設づくり		サービスの水準を高めるのに必要な機能の整備に努めます	機能整備について検討
(5) 効果的な広報活動	ア 広報手法の多様化	県図書館をより多くの方に知っていただくために、従来の広報手法に加えて新しい手法も展開します	スマートフォン対応のホームページを整備します	トップページのスマートフォン対応を実施
	イ 人が集まるホームページづくり	利用者の読書活動を支援する機能の充実に努めます	ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置します	ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置するための計画を立案
	ウ 他機関との連携による情報発信	情報発信を新たなサービスの検討に活かします	他機関と連携して互いの行催事の情報を発信します	他機関と連携した資料展示や講演会を通じて情報発信